

有明ねっとこむ新社屋

福岡県大牟田市

設計・監理／ライト設計
施工／瀬口組



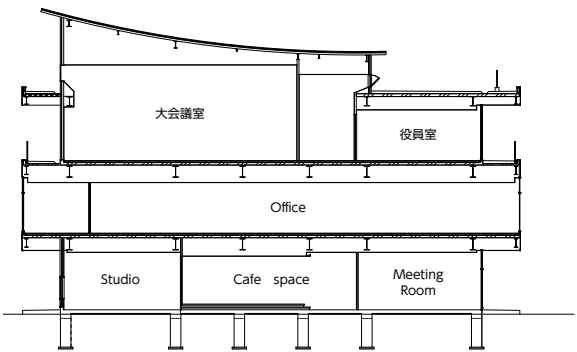
正面外観

計画概要

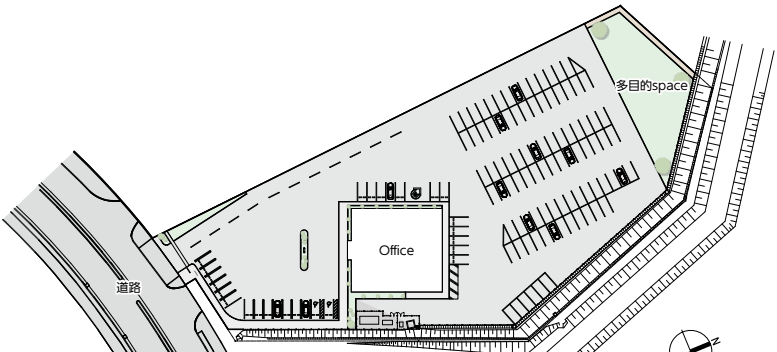
本プロジェクトの計画地は、福岡県大牟田市に位置する。大牟田市を中心にICT事業を展開し、コミュニティ放送局「FMたんと」の運営も手がける、株式会社有明ねっとこむの新社屋計画である。既存テナントビルの賃貸借契約更新を機に、分散していた2拠点の事業所を統合し、今後の事業拡大を見据えた新たな拠点として計画された。『大牟田市にない洗練されたデザイン』かつ『企業の新たなフラッグシップとなる社屋』にしたい、という事業主の強い要望に対し、地域の情報インフラを支える企業にふさわしい「先進性と品格」をコンセプトとした新社屋を計画した。



正面エントランスと大型キャノピー



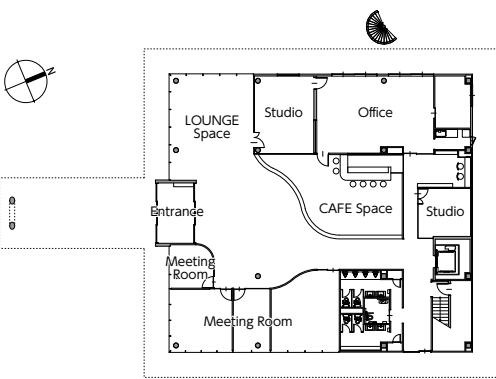
断面図 縮尺1/400



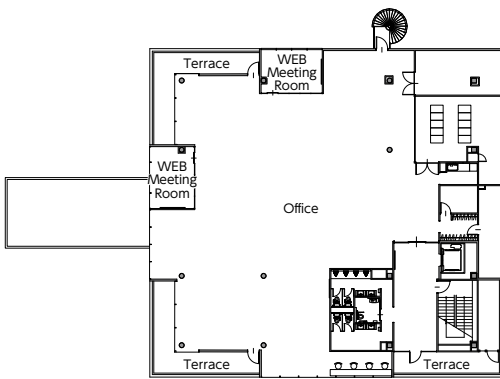
配置図 縮尺1/2,000



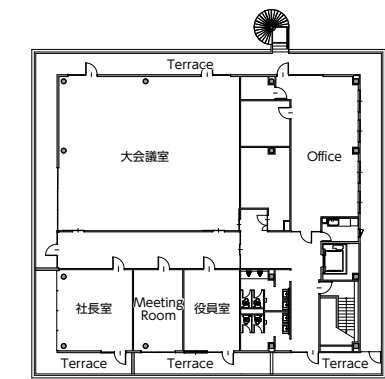
上ノ1階エントランスホールからカフェスペースを望む 左下ノ従業員休憩や来訪者との打ち合わせに利用されるカフェスペース 中下ノ1階ラウンジスペース 右下ノコミュニティ放送局「FMたんと」のスタジオ



1階平面図 縮尺1/600



2階平面図



3階平面図



明るい色調でまとめた1階「FMたんと」執務スペース



ガラスパーティションで見通しの良いオープンな2階執務スペース



Web会議室

設計主旨

多様な働き方と機能性を両立し、社内外のコミュニケーションを誘発する空間構成とした。1階は「会社の顔」となるパブリックなフロアとして位置づけ、エントランスホール、カフェスペース、FMスタジオを配置している。内部では、来訪者を緩やかに導くような曲線を描く折り上げ天井と、柔らかな光を放つ間接照明を採用し、空間に連続性と広がりを持たせた。カフェスペースは従業員の憩いの場であるとともに、クライアントとお茶を飲みながら打ち合わせができる開かれた交流の場と

して機能する。2階には、最大の部門であるIT事業部の執務室とサーバー室を集約した。執務空間やWeb会議室の間仕切りには透明性の高いガラスパーティションを多用し、見通しの良いオープンな環境を構築している。さらに敷地西側に広がる有明海のロケーションを最大限に活かし、時間とともに移ろう自然の風景を内部に取り込み、ワーカーの創造性を刺激する執務環境を創出した。

デザイン計画

事前のヒアリングにより導き出された「都会的で洗練されたデザイン」という事業主の要



2階執務スペース 中央に設けた共用テーブルが、部署内の打ち合わせや交流を促す

望を反映し、全体はモノトーンを基調とし、落ち着いた色彩計画とした。外観デザインは、内部の活気が外部へとシームレスに連続するスケルトンなイメージを持たせるため、開口部にガラスサッシを大きく取り、より多くの光を取り込む明るい空間となるよう計画している。一方で、日射に対する配慮として、各階にテラスや深い軒の出を確保し、日射遮蔽対策を行った。建物の顔となる正面エントランスの大型キャノピーには、力強いシンボルとなるV字型の柱を配置し、建物のアイデンティティを際立たせている。外壁には押出成形セメント板を採用し、各フロアの幕板を帯状にまわすことで、水平ラインを強調し、全体の意匠がバランスよくまとまるよう配慮している。さらに、塔屋部分の屋根は船の「帆」をイメージした形状とし、新たな海へ漕ぎ出すフラッグシップとしてのシンボル性を際立たせ、大牟田の新たなスカイラインをつくり出している。インテリアについても、1階カフェスペースの床に木目調のタイルを用いるなど、エレガントで洗練されたなかにも温かみを感じられる素材を選定し、日常のなかに変化を与え、ワーカーの気分に合わせて多様な過ごし方ができる心地よい空間を目指した。

(小郷佑樹ノライト設計)

有明ねっとこむ新社屋 データ

所在地 福岡県大牟田市岬町6-68

主要用途 事務所

建築主 有明ねっとこむ 代表取締役 納富和由紀

設計・監理 ライト設計

担当ノ総括：佐藤健太郎 建築：小郷佑樹、芹川昇平

構造：埋田祐介、松野茂敏

設備 木村設備設計

担当ノ電気：田上進、北村雅司

機械：今村匠志、吉野弘晃

施工 瀬口組

担当ノ所長：國崎大志

設計期間 2024年4月～2025年1月

工事期間 2025年2月～2026年1月

【建築概要】

敷地面積 7,625.73㎡

建築面積 774.55㎡

延床面積 1,775.30㎡

建ぺい率 10.16% (許容60%)

容積率 23.03% (許容200%)

構造規模 S造 地上4階

最高高さ 15.99m

軒高 15.38m

階高 1階：4.0m 2階：3.8m 3階：3.5m

天井高さ 2.65～5.0m

主なスパン 10m×10m

道路幅員 25.875m

駐車台数 119台

地域地区 工業専用地域(岬町地区地区計画区域)、法第22条区域

【設備概要】

電気設備 受電方式ノ高圧受電 予備電源ノ自家発電設備

空調設備 空調方式ノ空冷HPパッケージ方式 熱源ノ電気

衛生設備 給水ノ受水タンク式 給湯ノ電気給湯器 排水ノ分流式、公共下水道

防災設備 消火ノ消火器 排煙ノ自然排煙 その他ノ非常用照明、自動火災報知設備、誘導灯

【主な外部仕上げ】

屋根 カラーガルバリウム鋼板 嵌合式たてハゼ葺き、アスファルト防水保護防水密着断熱工法

外壁 押出成形セメント板 t=60 (工場塗装) 一部デザインパネル t=60+15

建具 アルミサッシ

外構 アスファルト舗装、インターロッキング舗装

【主な内部仕上げ】

エントランスホール 床ノセラミックタイル張t=6.0

壁ノビニルクロス 天井ノ岩綿吸音板 t=9.0

カフェスペース 床ノ硬質塩ビタイルt=2.5 (木目調180×1,260) 壁ノビニルクロス 天井ノビニルクロス、木目調アルミルーバー

スタジオ 床ノタイルカーペットt=6.5 壁ノグラスウールボード+ガラスクロス貼t=25 天井ノ岩綿吸音板 t=9.0

撮影ノ近代建築社(ジェイクス・佐藤健太)



南西側外観

協力会社

電気設備工事	ニューメディアエンジニアリング
給排水衛生設備工事	西日本管機工
空調換気設備工事	中島物産
昇降機設備工事	旭電業
地盤改良杭工事	本田産業
鉄骨工事	牛島電機工業
鉄骨階段工事	横森製作所
アルミ製建具工事	YKKAP
アルミ製建具工事	山田工業
鋼製建具工事	三和シャッター工業
押出成形セメント板工事	イスコ
防水工事	安藤工事
家具工事	モロインテリア
什器・備品納入	コクヨマーケティング